

認知症医療センターには、一般市民、専門職の方々へ認知症に関する情報を発信し、認知症の普及・啓発を促進するという重要な役割があります。センター便りとして定期的に情報を発信していきます

認知症の心理検査

■ 主な心理検査の内容

認知症の診断に用いられる心理検査の種類は複数ありますが、大きく分けると、簡便な課題で認知症による異常の有無を判別することを目的とした簡易検査と、具体的にどういった能力に支障が生じていて、それらがどの程度のものなのかを詳しく判定する複雑な検査とに分類されます。

簡易検査では、日時の感覚や今居る場所についての認識、単純な計算や物品の名前の呼称、記憶力（新しく覚える、覚えたことを保持しておく）を確認する課題など、主に日常生活に支障が生じやすい能力についての検査となります。あくまでも生活に支障が生じていないか、また、もし支障が生じているのであれば、ご本人がどのようなことに、どの程度の困難を感じているのかを客観的に把握することが目的です。主に言葉でのやりとりが中心となりますが、積木や描画を用いた課題などを行うこともあります。



また、複雑な検査としては、様々な検査キットを用いて複数の課題を行うものが多いです。こちらは知能検査を始めとして時間のかかるものが多いのですが、その分より細かく幅広い神経心理学的な能力の測定が可能となります。

これらの検査を対象の方の主訴や状態に合わせて使い分けたり組み合わせたりしていきます。それにより得られた情報を元に、診断に役立てたり、具体的な支援を提案する手掛かりを得ることができます。

実は、心理検査を受けられる際に誤解されがちなことなのですが、こうした心理検査の結果だけで、認知症と判断されるわけではありません。心理検査も含めた様々な検査や、ご家族からの情報などを元に、ご本人との診察を通して、認知症の専門医が総合的に診断をいたします。心理検査は、あくまでも情報の一部に過ぎませんので、余り身構えることなく受けて頂ければと思います。また、実際の検査に際しても、初めての来院で緊張されている方や、疲れやすい方にもできるだけ負担を感じずに受けて頂けるよう、専任の心理検査担当者が責任をもってお手伝いさせていただきますので、安心してご来院下さい。

(公認心理師/臨床心理士 北川 芳昭)

お薦めの一冊

認知症の記憶、（時間や場所、人などの）見当識などの認知機能障害や被害妄想、幻覚、収集癖などの行動・心理症状について誰が読んでも分かりやすく書かれてあるだけでなく、個々の認知症の人の視点に立ち、その人それぞれの心に寄り添いながら関わる事の大切さがとても暖かな言葉で表現されている一冊です。

読み進めるうちに不思議と心が晴れやかになりました。是非、購読をお薦めいたします。

ボケ、のち晴れ

認知症の人とうまいこと生きるコツ



川畑 智 著

脳神経科医
内野勝行 監修
中川いさみ マンガ



2024 年度第 1 回認知症啓発のための公開講座のご案内

[メインテーマ]「認知症と認知機能が低下した人の自動車運転と生活を考える」

[開催日]

令和 6 年 8 月 30 日（木）13：00～16：30

[会場]

直方鞍手医師会館 （直方市大字山部 808-13 TEL 0949-22-0448）

[プログラム]

13：00～14：30

(記念講演)

テーマ「認知症と認知機能が低下した人の自動車運転と生活を考える」

講師 高知大学医学部保健管理センター 准教授 上村 直人（かみむらなおと）先生

14：40～15：40

(講演)

テーマ「県内および直鞍地域における高齢者の自動車事故の現状」

講師 直方警察署交通課

16：00～16：30

(質疑応答)

「出前講座」プログラム追加のお知らせ

これまで開催した「出前講座」で参加いただいた皆さまから、日頃家庭でもできる「運動」について知りたいというご要望を沢山いただきました。そこで、今年度からあらたにプログラムに「**コグニサイズ**」を追加することにいたしました。

2～3名の少人数、土曜日祝日開催のご依頼もお受けしていますので、遠慮なく、下記までご連絡ください

[編集・発行]

医療法人 福翠会 高山病院 福岡県認知症医療センター

〒822-0007 福岡県直方市下境 3910-50

TEL 0949-23-0520(専用電話) FAX 0949-24-0838

E-Mail takayamaninchis@gmail.com URL <https://nogata-fukusuikai.jp/>